

列車が停止する前にドアを開扉した事象について（阪和線）

2022年12月10日、阪和線 東岸和田駅構内において、列車が停止する前にドアを開扉した事象が発生しました。ご利用のお客様にはご心配とご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1. 発生日時

2022年12月10日（土） 21時14分頃

2. 場 所

阪和線 東岸和田駅構内

3. 列車名

下り普通電車 6両編成 天王寺（19：55）発 和歌山（22：01）行  
ご乗車のお客様：約90名

4. 概 況

21時14分頃、当該電車の車掌は、電車が起動開始した直後に、非常ブレーキを扱いました。

その際、車掌は、電車が停止する前にドアの開扉操作を行ったため、扉が開いた状態で電車が移動し停止しました。

※当該電車はドアが開いて停止するまで約1.5m移動しました。

※お客さまからお怪我の申告はありません。

※当該電車は所定時刻を2分遅れて出発しました。

5. 列車影響

<運休>なし

<遅れ>当該電車のみ2分の遅れ

影響人員：約90人

6. 原 因

車掌が、電車が停止する前にドアの開扉操作を行ったためです。

7. 対 策

今回の事象を車掌に周知し、あらためて適切なドア扱いを徹底します。